

### 第3回 定住自立圏構想の推進に関する懇談会 議事要旨

#### 【開催日時等】

- 開催日時：平成21年2月25日（水）10：00～12：00
- 場 所：総務省8階 第1特別会議室
- 出席者：佐々木座長、小田切委員、小西委員、残間委員、田中委員、辻委員、牧野委員、  
吉村委員（農林水産省農村振興局長）、栗山委員（経済産業省地域経済産業審議官）、  
倉田総務副大臣、中村総務大臣政務官、瀧野事務次官、椎川地域力創造審議官
- 説明者：長田国土交通省総合政策局次長、度山厚生労働省政策統括官付  
社会保障担当参事官室政策企画官
- 事務局：山崎地域自立応援課長、境参事官

#### 【議題】

- (1) 資料説明
- (2) 意見交換
- (3) その他

#### 【配付資料】

- 資料1 定住自立圏構想推進要綱の概要等
- 資料2 先行実施団体の追加について
- 資料3 定住自立圏構想の中心市の要件を満たす市について
- 資料4 定住自立圏構想の推進に向けた総務省の財政措置の概要
- 資料5 定住自立圏構想の推進に向けた関係各省の支援施策（検討中）について
- 参考資料1 総務事務次官内かん（平成20年12月26日）
- 参考資料2 定住自立圏構想推進要綱について（平成20年12月26日総行  
応第39号総務事務次官通知）

#### 【資料説明】

- 事務局及び関係各省より、配布資料に基づき説明。

#### 【意見交換（概要）】

- 中心市の人口要件については、必ずしも機能とパラレルではないので、将来的には検討が必要ではないか。
- 定住自立圏の対象外圏域について、中心市性を持ちながら人口要件で対象となっていないのか、分散的に存在する過疎地域なのか特定を進め、分散的に存在する過疎地域については、過疎法との連携を意識していただきたい。

- 国土交通省所管の「地域経営推進事業」のように、周辺市町村における中心集落をサポートする事業がもっとあってもいいと思う。農林水産省は既に集落連携の事業などを持っているので定住自立圏構想との連携を意識していただきたい。
- 消防に関して、既に近隣市町村の消防本部同士が協定を結び、連携している事例があるが、消防も定住自立圏形成協定の対象となるのか。
- 周辺市町村の理解を得る上で、各省が連携しての施策は非常に重要である。文部科学省など他省庁の参画も促していただきたい。それによって市町村の理解も更に深まっていくと思う。
- 中心市の一覧を見ると、最近の人口減少率が高い市が含まれている。何らかの要件があつての結果だと思うが、定住自立圏の一般的なイメージとの間にずれが生じていると感じるところもある。
- 定住自立圏では、過疎債よりも辺地債の方が使いやすいと思うが、今後の展開をどのように考えているのか。
- 土地利用分野における定住自立圏の活用について、今度どのように考えていくかが大きな課題である。
- 中心市宣言によって個性あるまちづくりができて、成果が早く明らかになることが理想だと思う。周辺市町村との関係もあるが、どの程度具体的内容を書き込んでいくものなのか。
- 中心市要件を満たさない地域が不公平感をもつことも懸念される。定住自立圏構想を浸透させるためにも、これらの地域への配慮も、深化（進化）させてほしい。
- 定住自立圏構想のような取組は先行事例を丁寧につくり上げていけば、浸透すると思う。
- 定住自立圏構想の成否は、各省庁の支援策が省を超えて提案していただけるかに掛かっている。環境省、文部科学省も含めて積極的な支援をお願いしたい。

(以上)